

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋市歯科医師会附属 歯科衛生士専門学校
設置者名	一般社団法人 名古屋市歯科医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	77	9	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

刊行物による公表（一覧表及びシラバス、次年度はシラバスに明記）

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	名古屋市歯科医師会附属 歯科衛生士専門学校
設置者名	一般社団法人 名古屋市歯科医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校 運営委員会
役割	学校の予算編成方針、規程、行事、学校関係者評価（予定）その他学校運営に関することを審議する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
学校情報サイト運営事業者	2020.4.1 ～ 2022.3.31(2年)	学生情報、入試制度に係る知識を有する者
元学校長（歯科医）	2020.4.1 ～ 2022.3.31(2年)	学校の運営に関して知識・経験を有する者
(備考) 外部人材については規程改正後、委嘱予定		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋市歯科医師会附属 歯科衛生士専門学校
設置者名	一般社団法人 名古屋市歯科医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>作成過程</p> <p>本校の教育理念と教育目標に基づき、学則別表の教育内容別の各授業科目について、「授業科目概要」「学習目標」「授業計画」「成績評価の方法」等を内容とするものを作成している。</p> <p>作成及び公表時期</p> <p>作成時期：当該年度前期開講前に作成</p> <p>公表時期：令和元年度は令和元年7月25日</p>	
授業計画書の公表方法	刊行物による公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>「名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校 教務委員会規程」(学則に明記された委員会)に基づき同教務委員会を開催し、教育課程、進級及び卒業にかかる認定、教育の重要事項に関することを審議している。</p> <p>学修成果の評価については、教務委員会において、シラバスの成績評価方法に基づく結果をもとに学修成果を審議し、校長が進級等認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則及びその付帯規定において、学業成績に係る成績判定基準・方法を定めている。</p> <p>各履修科目について、シラバスの成績評価方法に基づき、学科試験等を実施し、その結果を個別に点数化し、評価している。なおその平均値において成績分布を把握している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	刊行物による公表
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校 教務委員会規程」(学則に明記された委員会)に基づき同教務委員会を開催し、教育課程、進級及び卒業にかかる認定、教育の重要事項に関することを審議している。</p> <p>卒業認定については、教務委員会において、卒業試験結果をもとに学修成果を審議し、校長が卒業認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	刊行物による公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校
設置者名	一般社団法人 名古屋市歯科医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校会計 貸借対照表、刊行物による公表
収支計算書又は損益計算書	学校会計 正味財産増減計算書、刊行物による公表
財産目録	—
事業報告書	学校運営委員会資料 刊行物による公表
監事による監査報告（書）	—

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	歯科衛生士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	114 単位	94 単位	単位時間 /単位	20 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			114 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
135 人		119 人	0 人	4 人	66 人	70 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校の教育理念と教育目標に基づき、学則別表の教育内容別の各授業科目について、「授業科目概要」「学習目標」「授業計画」「成績評価の方法」等を明記している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則及びその付帯規定において、学業成績に係る成績判定基準・方法を定めている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に明記された教務委員会において、卒業認定については、卒業試験結果をもとに、進級についてはシラバスの成績評価方法に基づく結果をもとに学修成果を審議し、校長が認定している。
学修支援等
（概要） 随時学生からの相談に対しアドバイスを実施している。成績不良者については学則付帯規定に基づき再試験等を実施し、学修支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
44 人 (100%)	1 人 (2.3%)	42 人 (95.4%)	1 人 (2.3%)
(主な就職、業界等) 歯科診療所			
(就職指導内容) 個々の学生の希望と就職先のきめ細やかなマッチングと調整			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士国家資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
131 人	3 人	2.3 %
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 継続的な個別面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	実習費・負担金	備考 (任意記載事項)
歯科衛生士科	280,000 円	430,000 円	450,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 刊行物「名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校自己評価結果」を学校内において公表 (予定)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校運営委員会において、学校運営に知識経験を有する者を学校関係者評価委員として委嘱し、学校運営、教育活動等について学校関係者評価を実施し、学校運営に反映させる。(予定)		
学校関係者評価の委員 学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。		
所属	任期	種別
学校情報サイト運営事業者	2020.4.1～2022.3.31 (2年)	企業等委員
歯科医	2020.4.1～2022.3.31 (2年)	元学校長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 刊行物「学校関係者評価結果」を学校内において公表 (予定) 2020年度から確実に公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://nagoya-d.com/ndh/ 及び関係刊行物を学校内において公表
--